

こんにちは、生徒会本部です。四月から新学期が始まりました。改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。わからないことも多く不安だと思いますが、気軽に先輩についてもっと知ってもらえるように、この生徒会新聞もさらに力を入れて作りたいと思っています。これからの生徒会は、行事をはじめとして、生徒会長・副会長の公約にかかげた企画も行っていくきます。積極的な参加をお願いします！

新入生歓迎会

先日の新入生歓迎会はどうでしたか？クイズやゲーム、劇など色々な企画がありました。どれも「おもしろかった」「楽しかった」と思ってもらえると嬉しいです。そこで、「先生ウソホント」ゲーム」「ジェスチャーゲーム」「劇」のそれぞれの裏話について紹介したいと思います。

先生ウソホント「ゲーム」

新入生の皆さんに一中の様子を知ってもらおう、という思いから考えた企画です。生活委員長の桃木さんをリーダーとして、先生方にインタビュをしていました。企画書には体育館の全体図と、それをどのように使うかを分かりやすく書いていました。個人で行うゲームを一番初めにすることで、一中の企画に対する雰囲気を感じてもらえたらと思っています。どうでしたか？

クラス対抗ジェスチャーゲーム

この企画は、美化副委員長の清本さんを中心に、生徒会役員の半数に近い十二人が担当して行ったものです。担当メンバーは、どのようなやり方にすれば全員がルールを理解して楽しんでくれるかを何度も話し合っていました。本番、ゲーム後の集計で内田先生からの「一分以内に担当の役員が結果を確認するように」というミッションに対し、時間通りに終わらせることができていました。皆さんも来月の生徒集会での、このような役員それぞれの立ち回りにも注目してみてください。

劇

最後の企画ということもあり、印象に残った人も多いのではないのでしょうか。前回(三年生を送る会)と同じく、脚本を体育副委員長の岩本さんが書きました。見ていて楽しめるのはもちろん、一中のことをもっと知ってもらえるように、行事やテストに関するシーンも盛り込まれていました。短い準備期間の中で、放課後に何度も通し練習をしていました。(実は本番ギリギリまでセリフを覚えられなかった人も...)。無事成功し一安心しています。もしかしたら、次回作があるかもしれません！

このほかにもライト・BGMなどの役割を行った裏方担当、場を盛り上げつないでくれた司会担当など、誰かひとりでも欠けていれば新入生歓迎会はこのまで良いものにはならなかったと思います。また、全校の企画への前向きな姿勢に助けられた部分が大きかったです。本当にありがとうございます。

少しだけ新入生歓迎会の写真を載せようと思います。どの企画の写真か当ててみてください！

説明を始めます

ジェスチャーゲームはどうでしたか？



編集後記

四月号も読んでいただき、ありがとうございました。新年度に入って初めての大きな企画ということもあり、まだまだ課題も多く見つけましたが、ひとつずつ確実に改善していけたらと思っています。来月は、初めての生徒集会やスローガン「Butterfly」にきてしまった悲劇(;)についてもお話ししたいと思います。お楽しみに！